



3年連続で国基準の待機児童ゼロを達成しました。

1 待機児童について

本市では子育て世代にも魅力的な「東京に隣接した子育てしやすいまち」として選ばれるまちづくりを進めるために「待機児童対策」を最優先課題として取り組んでまいりました。平成29年には、日経デュアル社の「共働き子育てしやすい街ランキング2017」の全国版（東京都を除く）において、前年の第5位から、遂に、第1位の獲得をするに至りました。待機児童対策のほか、産後ケア事業の充実、放課後児童クラブの整備など同時並行で進めてきた様々な子育て支援策が評価をされました。

平成27年4月には48名の待機児童を含む411名の入所保留者がありましたが、待機児童の解消に向けて小規模保育施設の整備などに取り組み、平成28、29年の2年連続で国基準での待機児童ゼロの達成をしてきました。平成30年4月も待機児童ゼロを目指し、平成29年度中に小規模保育施設を中心に整備を進めてまいりました。その結果、平成30年4月の国基準の待機児童ゼロを達成しました。

保育園などへの申込については平成29年度の前年比619名の増に対し、今年度は、前年比698名の申し込みの増で、年々増加している状況となっている中、入所保留者は昨年の入所保留者85名から、118名へと微増しております。主な内訳としては、特定の希望園を望んでいる方が72名、求職活動が確認できない方の37名で、緊急度が高い方々については全て受入ができたものと考えております。

次に、希望達成率ですが、第1希望、第2希望、第3希望までに入所できた割合が83%となっており、前年度に比べ10ポイント低下しております。兄弟がいる世帯のうち94%が同一施設に入所できている状況で、こちらも前年度に比較し1.1ポイント低下しております。

小規模保育施設の卒園児の対応については、3歳の壁をつくらないための松戸市独自の幼稚園での預かり保育の拡充などにより小規模保育施設卒園後に幼稚園を利用する保護者が22.1%から22.3%に微増した事に加え、新たに幼稚園への送迎保育ステーションの開設を他市に先駆けて実施することや、新松戸地域で予定しておりました新園の開設などにより、すべての児童を受け入れることができました。

本市の保育政策として0歳から2歳は整備期間が短く、整備経費が安価な小規模保育施設で、3歳から5歳は定員に余裕のある幼稚園での預かり保育を促進することで3歳以降の受入について積極的に推進してまいります。保護者さまに多様な選択肢をご用意することで、子育てしやすい街を実現してまいります。



(1) 待機児童の現状

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
国基準の待機児童	4 8	0	0	0
入所保留者（実質的待機児童）	4 1 1	1 4 3	8 5	1 1 8

※平成30年度入所保留者（実質的待機児童）の内訳

平成30年度入所保留者 118名		
内訳	① 希望園限定	72人
	② 求職状況不明	37人
	③ 幼稚園預かり保育利用	1人
	④ 一時預かり保育利用	1人
	⑤ その他	7人

(2) 申込状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
申込者	6, 7 3 1	7, 3 0 7	7, 9 2 6	8, 6 2 4
前年比	+ 4 2 6	+ 5 7 6	+ 6 1 9	+ 6 9 8

(3) 入所希望達成率の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度
第1希望	6 5 %	5 9 %
第2希望	1 8 %	1 5 %
第3希望	1 0 %	9 %
計	9 3 %	8 3 %

(4) 兄弟がいる世帯の入所状況

	平成 29 年度	平成 30 年度
兄弟で入所している世帯	1, 231 世帯/6, 402 世帯	1, 341 世帯/6, 859 世帯
うち、兄弟が同一施設に入所する世帯	1, 171 世帯 : 95.1%	1, 260 世帯 : 94.0%

(5) 小規模保育施設卒園児童の進路先

	卒園児数	進路先		
		認可保育園 認定こども園	幼稚園	その他 (転勤、自宅など)
平成 28 年度 卒	2 0 9	1 5 4	4 4	1 1
		(73.7%)	(21.1%)	(5.3%)
平成 29 年度 卒	2 6 9	1 9 8	6 0	1 1
		(73.6%)	(22.3%)	(4.1%)



2 今後の保育需要の見込みと対応策

【保育需要の見込み】

国の一億総活躍プランでは、平成34年度末に25歳から44歳までの女性の就業率が80%になると、1、2歳児の保育園利用率が60%になると試算。

本市の場合、新たに約2,000人（0歳から2歳児）の保育の受け皿と600人の保育士の確保が必要になる。

【対応策】

0歳から2歳児では小規模保育施設の整備、3歳から5歳児では認可保育園の建設は抑制し、幼稚園の現行の受け入れ可能定員を活用した預かり保育で対応。

(1) 0歳～2歳児への取り組み

① 小規模保育施設の整備（県内1位の整備数）

・保育施設の市町村比較（平成30年4月1日時点での見込み）

	松戸市	千葉市	船橋市	市川市	柏市
小規模保育施設	62箇所	55箇所	21箇所	14箇所	7箇所
保育園(認定こども園含む)	72箇所	202箇所	113箇所	108箇所	76箇所

(2) 3歳～5歳児への取り組み

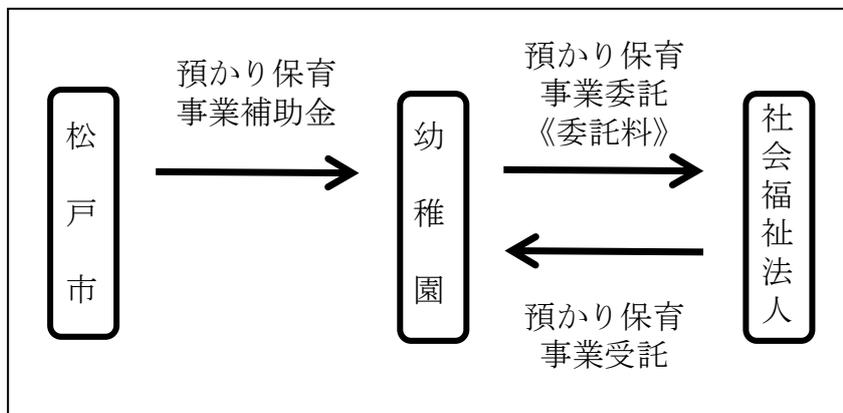
① 幼稚園の預かり保育事業の促進（平成29年度は38園中12園で実施）

預かり保育事業促進に向けての課題

- ・通常は朝と夕方のみ、夏休み期間などは終日の変則勤務が可能な人材の確保
- ・保育経験を持つ人材の確保



幼稚園の教育時間の前後及び夏休み期間などで実施する預かり保育事業を、保育実績及び保育士人材の豊富な社会福祉法人に受託してもらうことで幼稚園の負担を無くし、受け入れ園数を増加していく。





② 送迎保育ステーションの拡充

松戸駅前に次いで2施設目となる送迎保育ステーションが幼稚園型として新松戸駅前に開設。

- ・幼稚園バスの停留所の1つとして幼稚園型送迎保育ステーションを活用し、朝は幼稚園のバスが来るまで、夕方はバスが着いてから保育を行い、幼稚園休園日には一時預かり保育を実施。
 - (1) 待機児童及び入所保留者の解消につながる
 - (2) 幼稚園バスを活用するため、バスや運転手のコストを削減できる
 - (3) 幼稚園としては、園児の確保につながる
- ・所在地：新松戸ひかりの子送迎保育ステーション（新松戸4-2 5 6-1）
- ・利用可能時間：平日及び土曜日の7時から19時
- ・定員：25名
- ・指定幼稚園：2園（大勝院幼稚園、みやおか幼稚園）

（3）保育士の確保への取り組み

① 保育士養成修学資金貸付金

指定保育士養成施設に通い保育士を目指す学生に対し、養成施設の学費を無利子で貸付、市内で新たな保育士を育成することで保育士を確保。

・養成施設（短大や専門学校）の学費

181万円（道灌山学園保育福祉専門学校）～218万円（聖徳短大夜間3年生）



千葉県貸付制度と松戸市貸付制度を併用すれば、
ほぼ費用をかけずに保育施設に通学して保育士資格を取得できます。

千葉県貸付制度	最大120万円
---------	---------

松戸市貸付制度	最大72万円
---------	--------



最大192万円

※返還を全額免除 ← 卒業後、松戸市内に在住し、松戸市内の民間保育施設で5年以上勤務する。

② 保育士就職支援貸付金

新卒保育士として市内の保育施設に就職した保育士へ、就職準備金を無利子で貸付、就職時の経済的負担を軽減し、就労する意欲を促進。

【貸付対象者】

○新卒常勤保育士

○市内在住、または勤務開始とともに市内に在住できる方

【貸付金額】 上限10万円

※返還を全額免除 ← 卒業後、松戸市内に在住し、松戸市内の民間保育施設で2年以上勤務する。

【問い合わせ先】

子ども部 幼児保育課

☎047-366-7351